

アカデミー福島V

いわきでサッカーJヴィレッジ杯プレ大会

県勢決戦 尚志下す

京都橘3位



【JFAアカデミー福島—尚志】後半32分、チーム5点目のゴールを決めるJFAアカデミー福島のFW木村



優勝したJFAアカデミー福島イレブン

今年夏に一部施設が再葉・広野町)を全国にP I V I L L A G E C U P 開するJヴィレッジ(楡 Rするサッカー大会「J P 2018 春季プレ大

会は最終日の28日、いわき市の新舞子ヴィレッジのフィールドで決勝を行い、JFAアカデミー1福島が尚志高(郡山市)を5-3で下し優勝した。3位決定戦は京都橘高(京都府)が2-1で関東一高(東京都)に勝利した。

選手権大会に出場した3校と東京電力福島第一原発事故に伴い活動拠点を静岡県に移しているJFAアカデミー福島の計4チームが出場し、26日から3日間、予選リーグと順位決定戦で戦った。

アカデミー5得点

【評】5得点したJFAアカデミーが尚志を下した。JFAアカデミーは3-3の同点で迎えた後半21分、DF野末が勝ち越し点を挙げた。32分にFW木村のゴールで突き放した。尚志は攻撃的な布陣で3得点したが及ばなかった。



【JFAアカデミー福島—尚志】チーム3点目のゴールを決めるなど活躍した尚志のFW高城(9)

京都橘が 逆転勝ち

▽3位決定戦

京都橘2(201)―関東一▽得点者【京】OG(後4分)竹内(後12分)【関】員(前25分)

練習積み力付ける 尚志の高城

尚志はレギュラー陣が出場した。爽快なシュートで何度も相手ゴールを脅かした尚志のFW高城は先制したが、後半に入ってからリズムを乱した。

「福島の人たちに活躍見せたい」

途中出場したJFAアカデミー福島のFW木村(太)は後半32分持前の走力を生かし、相手守備陣の裏のスペースに抜け出すと、味方からのスルーパスに冷静に右足を合

5点目の木村

せ、ゴールへ流し込んだ。交代、サッカー日本代表を夢見る木村は、県内で初めてプレーしたと入直後の最初のプレーで、合宿などで使用していたJヴィレッジでプレーすることに決めた。流れを変えるのが憧れ、JFAアカデミー福島のJヴィレッジで開かれるので自分の仕事と笑顔がはじけ入りを決意した。しかし、入団前にアカデミーは東京電力福島第一原発事故に伴い活動拠点を静岡県に移した。

Jヴィレッジで 8月にプレ大会

7月28日に一部施設が再開するJヴィレッジで、8月に「J-VILLAGE CUP 2018 夏季プレ大会」が開かれる。夏季プレ大会には高校サッカーやクラブチームなど全国から強豪8チームの出場を予定している。地元高校生が参加するサッカーイベント「高校生フェスティバル」を同時開催し、大会を盛り上げる。春季プレ大会で好評だった小学生対象のサッカー教室や地元高校生との親善試合も行う見通し。J-VILLAGE CUPの本大会は2019(平成31)年3月に開かれる予定。サッカーの方で福島を盛り上げようとする関係者が準備を進めている。Jヴィレッジマーケティンググループ課長補佐の明石重周さん(39)は「出場チームだけでなく、地域住民も一緒に盛り上げて元気になれる大会を目指す」と話している。